

# もうひとつの ペット探偵物語

## Episode 1



2年ぐらい前に、長野県のキャンプ場に猫を連れて行って逃がしてしまった、と依頼連絡があり山狩り捜索員2人に、私も応援に行きました。  
捜索して5日目、午後3時ぐらいに突然2.5メートルぐらいの大きさの熊と5メートルの距離で出くわしました。それが、それが、たまたま私でした。  
頭が真っ白になりましたが、熊が立ち上がって今にも襲ってくる寸前で、そばには誰も居なかったので一寸だけ落ち着いて考えました。  
ポケットには何も無く、首に犬の訓練用の笛があったので試しにそれを吹きました。  
犬の訓練用の笛は人間には聞こえない周波数の音が出ます。笛を吹いたら立ち上がっていた熊はキョロキョロしていましたが、続けて吹いていたら逃げていきました。  
笛が無かったら間違いなく襲われて、今この世にいなかったと思います。  
それからは山のキャンプ場、高速のパーキングで猫、犬が逃げた場合、捜索員には必ず笛を持たせています。

5年ぐらい前に、所沢で黒猫が逃げて探して欲しいと電話あり、1週間の契約をしました。  
1週間の間に黒猫1匹を保護しましたが残念ながら違う猫でした。  
それから又1週間、2週間・・・5ヶ月、毎日探して黒猫17匹を捕獲し、依頼者にもうそろそろ止めた方が良くないですかと言いましたが、まだ探すと言うので探していました。  
探し始めて8ヶ月過ぎて人間の死体を見つけました。  
警察からは疑いをかけられ大変でしたが、結局浮浪者の死体でした。  
黒猫を探し始めて12ヶ月、依頼者の方からもう1年たったから諦めるという話があり、黒猫探しは終わりました。  
1年間に保護した黒猫は32匹。依頼者の方はみな違うと言っていました、おそらくその中に本物がいたと思います。  
猫は外に出て暮らすと、顔つきとか体つきなんかが変わります。  
でも依頼者が違うと言えれば仕方ないので、1年間毎日、雨が降っても台風でも休まずやりました。  
日当19,000円×365日、依頼者ご本人は納得したようで、喜んで別れました。  
信用があったからこそここまで頼んだと思います。

## Episode 2



## ペットの見つけ方

何日捜索するかが一番問題です。3日間だと殆どむずかしいですね。大体一週間ぐらいだと予定が組めます。  
探しているペットの性格、年齢、どのような飼い方をしていたか、今まで外に出たことがあるか、人懐っこいか、などを聞き、頭に入れて探します。基本的に夜は探しません。夜探し歩くと近所の人や警察に通報してパトカーがすぐ来ます。  
夜そこに居る場合は夜やりますが、探し歩くのはしません。張り紙、聞き込みをし、居るところが分かった場合飼い主を呼び、飼い主が名前を呼んでも来ない場合、自然に餌付けをして自作の捕獲器で捕獲します。